

A LITTLE SCHOOL WITH BIG DREAMS

“小さな学校 大きな人間づくり”

こうのうら

佐世保市立神浦小学校
学校便り

ビッグスマイル
神浦・ザ・13

No.54

平成27年1月8日(木)

文責：校長 園田俊郎

学校教育目標：心やさしく 進んで学び たくましく生きる子どもの育成

あけまして おめでとうございます。

今年もよろしく願いいたします。



平成27年が幕を明けました。皆様、あけましておめでとうございます。

年末年始は新春寒波が訪れ、小雪舞う中の年明けでしたが、皆様ご家族お揃いでゆっくりと過ごされたことでしょう。

新しい27年の始まりですが、同時に26年度の残りはわずか3ヶ月となります。

例年のことですが、この3ヶ月は本当にあっという間に通り過ぎてしまいます。

この時期に関して、昨年度「ゆずりはの心」と題して全校朝会で子ども達に話をし、この学校便りにも書かせていただきました。



正月飾りにも使われる「ゆずりは」という樹木が「新しい葉がある程度まで成長すると古い葉と新しい葉が交代する」ことから、この時期は特に6年生と5年生にとっては「リーダーとしての役割」や「伝統」「誇り」「魂」といったものをゆずり、ゆずられ引き継ぐ期間、その為の備えと学びの期間であるという内容でした。また、どの学年の子どもにとっても、現在の学年のまとめの

時期であると共に、次の学年への大切な準備期間です。そのことを、しっかりと意識させ、目的、目標を明確にさせながら、一年のまとめ、ホップ、ステップに続く、大きなジャンプの期間となるよう取組んでいきます。

年末のことになりますが、お正月に向け、恒例の「しめ縄作り」をしました。講師として、山田 薫様、そして放課後子ども教室の方々、郷地区 濱村区長様他5名の皆様にご協力いただきました。」
作るにはわらの束を縫い(より)、同時に縛って(なう)いかなければなりません。

《「縫る(よる)」と「縛う(なう)」の意味》

どちらも、何本かの糸状のものや紙を一つにねじり合わせる事。
二語とも何本かのわらや糸を一つにまとめてしょうぶにするのであるが「縫る」にはそれ自身をねじって強くする意もある。
また「縫る」の場合の材料は、紙、糸、わらのほか、針金も可能だが、「縛う」材料は糸やわらに限られる。(goo 国語辞書より)



昨今、わらは元より紙や糸を自分で縫ったり、縛ったりすることはほとんどなく、日常的にはあまり使うことのない言葉かもしれません。ましてや、実際に自分でやるとなると大変です。説明をよく聞いて、お手本をよく見て、わらを縫いながら、同時に縛っていきます。

やはり最初はなかなか上手くいきません。しかし、子ども達は丁寧に教えていただきながら何とか自分で完成させることが出来ました。

理解と技術の両方、そして頭と体の動かし方の両方が揃わないととても上手くはできません。今年、このワクワクタイム(放課後子ども教室)で取組んだ『竹細工』も同様ですが、伝統や習わし、そして技術もしっかりと受け継ぎたいものです。

ご指導いただきました
皆様、ありがとうございました。

バッチリ完成!

